

第10節 特筆すべき植物

特筆すべき動物と同様に、平成10年12月から平成11年11月に実施した現況調査結果について、再度特筆すべき植物の見直しを行った。その結果、表10-1に示した13種が対象となり、これらの種については、評価書及び検討書に記載してあるとおり、最終処分場計画地内に生育し、かつ当該事業の実施により消失する種については移植を行うこととしている。そのため、今回再度確認調査を実施し、生育を確認した種については、適期に生育適地へ移植を行うこととした。

また、移植を行った種については、一定期間（移植後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年後、3年後、5年後）に活着の状況を調査することとした。

表10-1 見直しにより特筆すべき植物として挙げられた種

No.	種名
1	ミズワラビ
2	ミズマツバ
3	カラタチバナ
4	シソクサ
5	ササユリ
6	ギンラン
7	アキザキヤツシロラン
8	ムヨウラン属の一種
9	アギナシ
10	イシモチソウ
11	イトモ
12	ホシクサ
13	ヒメコヌカグサ

第1項 再確認調査

1-1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表10-2に示したとおりである。

表10-2 調査年月日及び調査内容

調査対象種	調査年月日	調査内容
ミズワラビ	平成21年9月15日	最終処分場計画地内における再確認調査
ミズマツバ	平成21年9月15日	
カラタチバナ	平成21年6月12日	
シソクサ	平成21年9月15日	
ササユリ	平成21年6月12日	
ギンラン	平成21年6月12日	
アキザキヤツシロラン	平成21年9月15日	
ムヨウラン属の一種	平成21年6月4日	
アギナシ	平成21年8月10日	
イシモチソウ	平成21年6月4日	
イトモ	平成21年8月10日	
ホシクサ	平成21年8月10日	
ヒメコヌカグサ	平成21年6月4日	

1-2 調査範囲

調査範囲は図10-1に示したとおりであり、最終処分場計画地周辺で実施した。

1-3 調査方法

調査は、評価書の現況調査で生育を確認した地点及びを中心、対象種を任意に踏査しながら確認する任意調査で実施した。

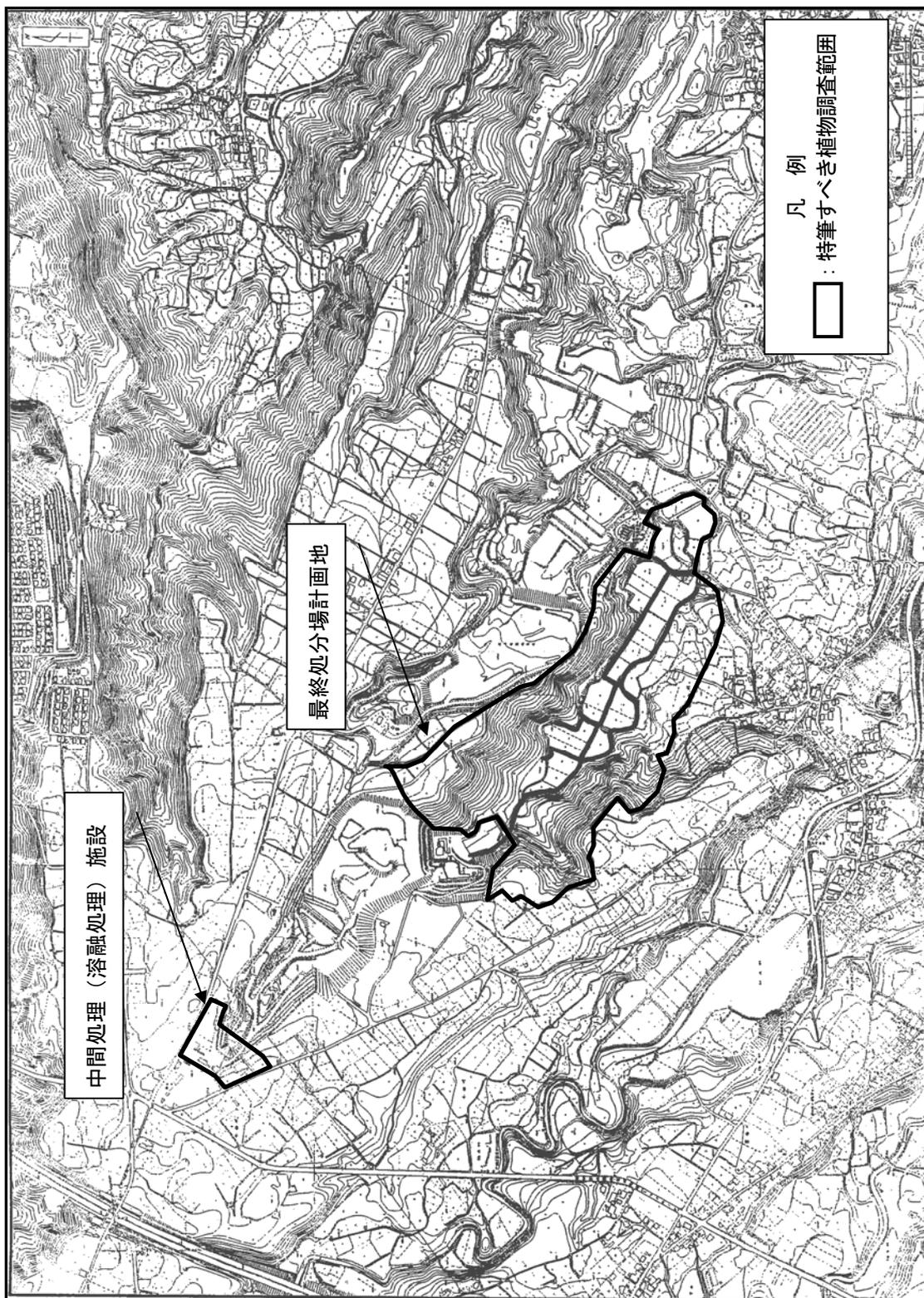


図 10-1 特筆すべき植物調査範囲

1-4 調査結果

調査の結果、表 10-3 に示したとおり対象 13 種のうち、アギナシ、イトモ、ホシクサの 3 種を除く 10 種の生育を確認した。

確認位置については、盗掘等を防ぐため、図示は省略した。

表 10-3 特筆すべき植物確認状況

種名	調査結果
ミズワラビ	3 地点で合計 36 個体確認
ミズマツバ	2 地点で合計 25 個体確認
カラタチバナ	4 地点で合計 8 個体確認
シソクサ	3 地点で合計 120 個体確認
ササユリ	1 地点で合計 2 個体確認
ギンラン	2 地点で合計 26 個体確認
アキザキヤツシロラン	5 地点で合計 24 個体確認
ムヨウラン属の一種	最終処分場計画地内の残存緑地予定区域の 1 地点で合計 2 個体確認
アギナシ	確認できず
イシモチソウ	最終処分場計画地外の 1 地点で合計 15 個体確認
イトモ	確認できず
ホシクサ	確認できず
ヒメコヌカグサ	最終処分場計画地外の 1 地点で合計 5 個体確認

第2項 移植調査

1-1 調査年月日及び調査内容

前項に示した調査により生育を確認した種については、それぞれの種の適地に移植を行った。調査年月日及び調査内容は、表10-4に示したとおりである。

表10-4 調査年月日及び調査内容

種名	調査時期	調査内容
ミズワラビ	平成21年10月9日	最終処分場計画地内の残存緑地等において、それぞれの生育適地に移植を行った。
ミズマツバ	平成21年10月9日	
カラタチバナ	平成21年6月12日	
シソクサ	平成21年10月9日	
ササユリ	平成21年6月12日	
ギンラン	平成21年6月12日	
アキザキヤツシロラン	平成21年10月9日	

※:生育を確認した「ムヨウラン属の一種」、「イシモチソウ」、「ヒメコヌカグサ」の3種については、生育確認位置が最終処分場計画地外又は同計画地内の非改変区域内であるため、調査は生育の確認のみで、移植等の保全対策は実施しないこととした。

1-2 調査結果

調査の結果、表10-5に示したとおり生育を確認した対象10種のうち、事業による影響を受けない（改変区域内に生育していない等）ムヨウラン属の一種、イシモチソウ、ヒメコヌカグサの3種を除く7種について、それぞれの適地に移植を行った。

なお、湿地性植物のミズワラビ、ミズマツバ、シソクサの3種については、最終的には本事業の調整池内に移植をする予定であるが、現時点で移植先が整備されていないため、仮移植地として、西側に位置する小山最終処分場の調整池内に仮移植することとした。

移植位置については、盗掘等を防ぐため、図示は省略した。

表10-5 移植調査結果

種名	調査結果
ミズワラビ	確認した全36個体を移植
ミズマツバ	確認した全25個体を移植
カラタチバナ	確認した全8個体を移植
シソクサ	確認した全120個体を移植
ササユリ	確認した全2個体を移植
ギンラン	確認した全26個体を移植
アキザキヤツシロラン	確認した全24個体を移植

第3項 活着確認調査

1-1 調査年月日及び調査内容

移植を行った種については、一定期間経過後（移植後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年後、3年後、5年後）に活着の状況を調査することとした。（平成21年度は移植後1ヶ月後、3ヶ月後、一部の種は6ヶ月後まで）

調査内容及び調査年月日は表10-6に示したとおりである。

なお、下記以降の調査については、次年度以降で実施する。

表10-6 調査内容及び調査年月日

種名	調査内容及び調査年月日		
	移植1ヶ月後 活着確認	移植3ヶ月後 活着確認	移植6ヶ月後 活着確認
ミズワラビ	平成21年11月30日	平成22年1月29日	(平成22年度実施)
ミズマツバ	平成21年11月30日	平成22年1月29日	(平成22年度実施)
カラタチバナ	平成21年7月9日	平成21年9月15日	平成21年12月14日
シソクサ	平成21年11月30日	平成22年1月29日	(平成22年度実施)
ササユリ	平成21年7月9日	平成21年9月15日	平成21年12月14日
ギンラン	平成21年7月9日	平成21年9月15日	平成21年12月14日
アキザキヤツシロラン	平成21年11月30日	平成22年1月29日	(平成22年度実施)

1-2 調査結果

移植を行った種の一定期間（移植後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月）経過後の活着の状況は表10-7に示したとおりである。

なお、生育を確認できなかった種については、移植後、1ヶ月後、3ヶ月後の活着調査が秋季や冬季に該当し、それらの地上部が枯れるため、生育が確認できなかったものと考えられる。

表10-7 調査年月日及び調査内容

種名	調査結果		
	移植1ヶ月後 活着確認	移植3ヶ月後 活着確認	移植6ヶ月後 活着確認
ミズワラビ	全36個体の生育を確認	21個体の生育を確認	
ミズマツバ	2個体の生育を確認	確認できず	
カラタチバナ	全8個体の生育を確認	全8個体の生育を確認	全8個体の生育を確認
シソクサ	100個体の生育を確認	70個体の生育を確認	
ササユリ	1個体の生育を確認	確認できず	確認できず
ギンラン	全26個体の生育を確認	21個体の生育を確認	18個体の生育を確認
アキザキヤツシロラン	2個体の生育を確認	1個体の生育を確認	